

令和 7 年 3 月 吉日

保護者の皆様

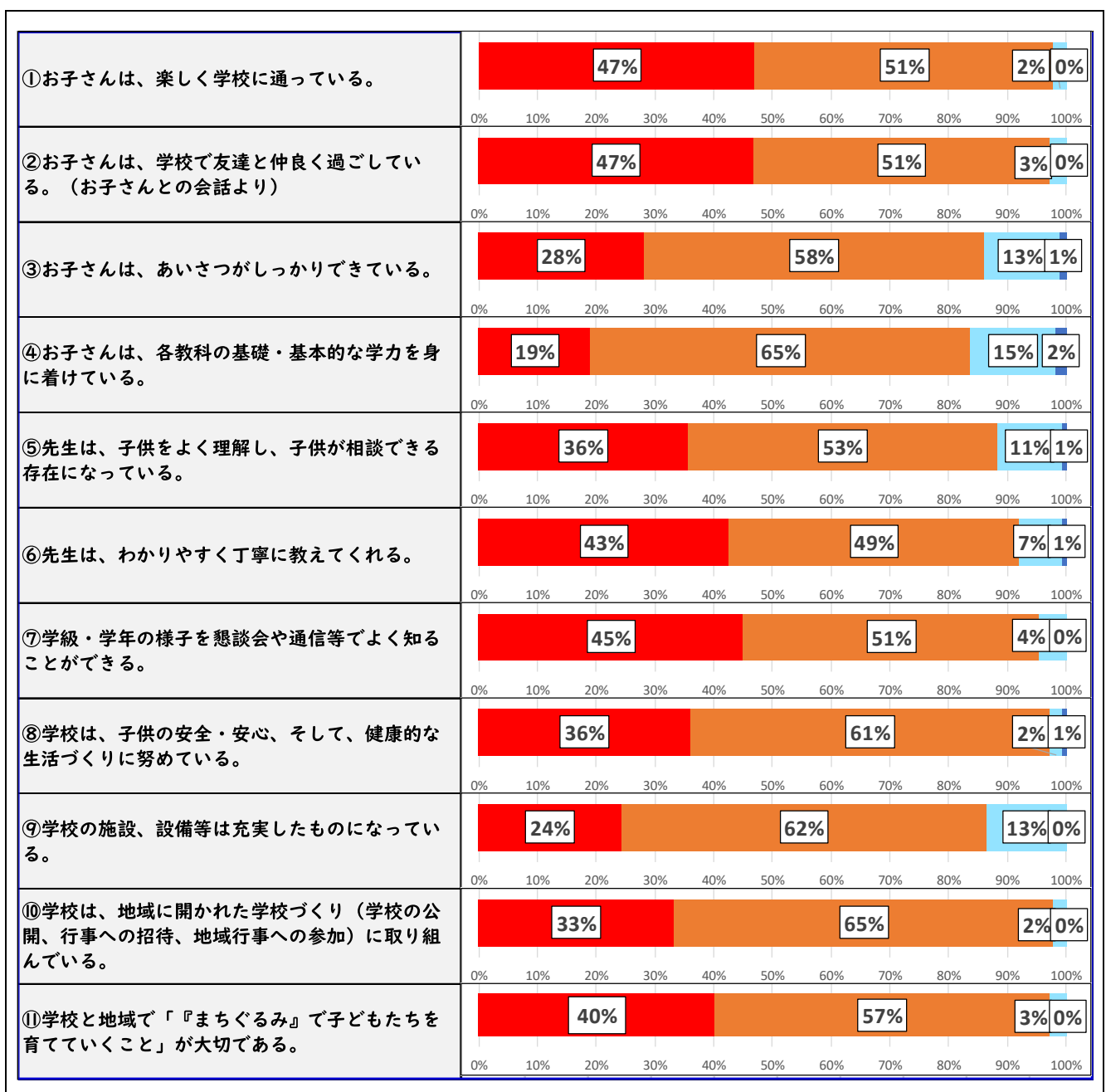
蒲郡市立蒲郡東部小学校
校 長 小 島 千 典

令和 6 年度 蒲郡東部小学校 学校経営評価 保護者用アンケートの結果

浅春の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動にご協力いただき、心から感謝を申し上げます。

さて、12月に行いました学校経営評価アンケートについて、集計の結果が出ましたのでご報告します。貴重なご意見やあたたかいお言葉をいただきました。ご意見に関する回答につきましては、学校全体にかかわるものについて回答させていただきましたので、よろしくお願いします。

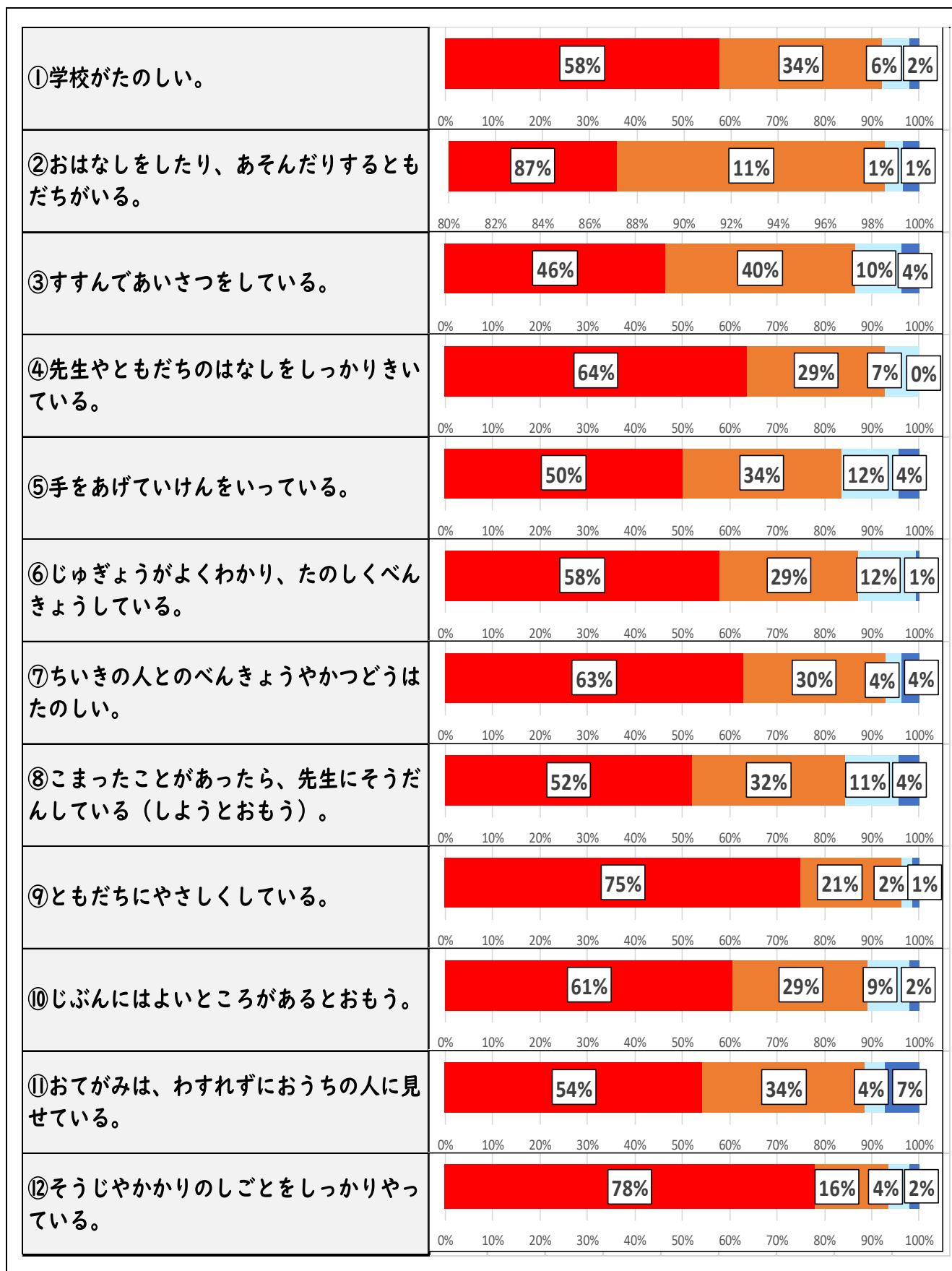
■:あてはまる ■:だいたいあてはまる ■:あまりあてはまらない ■:まったくあてはまらない



(本件連絡先 蒲郡東部小学校 教頭 石田 元 TEL 6 8 - 2 3 7 5)

令和6年度 蒲郡東部小学校 学校にかかわるアンケート（児童用 1・2・3年）の結果

■:あてはまる ■:だいたいあてはまる ■:あまりあてはまらない ■:まったくあてはまらない



令和6年度 蒲郡東部小学校 学校にかかわるアンケート（児童用 4・5・6年）の結果

■:あてはまる ■:だいたいあてはまる ■:あまりあてはまらない ■:まったくあてはまらない



◎アンケート結果について

コミュニティスクールの推進に伴い、蒲中学区共通のアンケート内容で継続的に比較をしながら検討しています。今後の学校運営の材料としたいと思います。

今回のアンケートの結果、次のようなことがわかりました。

<学習面>

「**学校が楽しい**」の問いに全体で90%の子どもたちが「あてはまる」と答えていました。保護者の方もお子さんの様子を見て、98%の方が「あてはまる」と答えており、高い数値が出ています。

「**授業の内容がよくわかり、楽しく学習している**」の問いには、低学年・高学年ともに、9割近い子が「あてはまる」と答えていました。また、「先生や友だちの話を集中して聞いている」の問いにも、全体で9割の子が「あてはまる」と回答しており、学習に対して、前向きに取り組んでいることがわかりました。保護者の方も、「**わかりやすく、丁寧に教えてくれる**」の問いに、92%の方が「あてはまる」と答えていました。さらに、「**拳手をし、進んで意見を言う**」の問いでは、低学年で8割、高学年で7割近い子が「あてはまる」と答えています。学年が上がるほど内容が難しくなり自信が持ちづらくなることも予想されますが、今後も子どもたちにとって、実りある学習ができるように授業づくりに励んでいきたいと思っています。

<生活面>

「**いろいろなことを話したり、相談したりする友だちはいますか**」の問いに、低学年・高学年ともに9割以上が「あてはまる」と答えていました。また、「**友だちに優しくしている**」の問いにも、低学年・高学年ともに9割を大きく超えて「あてはまる」と答えていました。全体的に友好的な関係のなかで生活できているととらえます。保護者の方も98%の方が友だちと仲良く過ごしていると答えていました。

「**困ったことがあったら先生に相談しようとしている**」の問いに、低学年8割以上、高学年で7割以上の子が「あてはまる」と答えていました。子どもたちのなかには、自分から悩みを打ち明けられない子もいます。子どもの表情を確認しつつ、教育相談やアンケート、連絡帳、日記などを通じて、子どもが一人で苦しまないように気を配っています。保護者の方も「**子どもをよく理解し、相談できる存在になっている**」の問いに、89%の方が「あてはまる」と答えていました。引き続き配慮していきたいと考えます。

「**すすんであいさつしている**」の問いに、低学年・高学年ともに8割以上の子が「あてはまる」と答えていました。また、「**お子さんは、あいさつがしっかりできている**」の問いに86%の保護者が「あてはまる」と答えており、昨年度とほぼ同じ結果が出ています。しかし、A「あてはまる」の数値だけを見ると低学年が+7%ですが、高学年と保護者ではどちらも-4%と下がっています。これは、あいさつ運動等の成果で学校生活の中では低学年を中心に子どもの意識が高まっていますが、家庭や地域では低いことも推測されます。今後も、今年度始まった『あいさつ協力隊』や蒲中学区合同の一斉あいさつ運動を発展・充実させながら、家庭や地域でもすすんであいさつができる子を増やしていきたいと思っています。

<学校安全>

「**学校は、子どもの安全・安心、そして健康的な生活づくりに努めている**」の問いに、97%の保護者が「あてはまる」と答えていました。今後も引き続き、子どもの健康や安全を意識した生活を心がけていきたいと思っています。

<開かれた学校・地域学校協働活動>

「**学級学年の様子を懇談会や通信などでよく知ることができる**」の問いに、96%の保護者が「あてはまる」と答えていました。今後も学校の様子をお知らせできるようにしていきたいと考えます。

「**学校は、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいますか**」の問いに、98%の保護者が「あてはまる」と答えていました。コミュニティスクールを推進していく中での地域学校協働活動の成果でもあると感じています。これからもさらなる工夫をしていき、家庭・地域との距離を縮めながら子どもたちの学びを深めてまいりたいと考えます。

「**地域の方との勉強は楽しい**」の問いに、低学年・高学年ともに9割以上で「あてはまる」と答えています。子どもたちは、地域の方とのふれあいのなかで学ぶことの楽しさと地域への愛着を感じています。来年度も地域の先生をさらに広げ、地域の方との学びを充実させていきたいと思っています。

最後に「**自分には良いところがある**」の問いに、低学年・高学年ともに8割以上の子が「あてはまる」と答えていました。今後も一人一人の個性や長所を認め、自己肯定感や自己存在感を大切にしつつ、前向きな活動ができるように支えていきたいと思っています。

◎保護者記述のアンケートより

【感想をまとめました】

- ・休日でも職員室の電気がついている。先生方が疲弊されているのではと心配している。軽減が難しい業務もあると思いますが、例えば参観日や行事を減らす、懇談は電話で行う等でもよいのではと個人的には思っている。
- ・東部小学校の先生方は、休日の地域やPTAの行事にかなりの確率で参加されていたので、とても熱心だと感じた。教員の働き方改革の流れもあるので、もっと外部に任せて休めるときには休めばよいのではないかと思います。

→ 行事等の見直し・地域との連携強化

- ・これからも子どもたちが行きたくなるような学校であって下さい。
- ・先生にはもう少し子どもを褒めてあげてほしいです。叱ることばかりがいいとは限りません。褒めて伸ばしてほしい。
- ・学校全体で子どもに敬称(さん、くん、ちゃん)を付けて呼んでいただけたらと思います。

【意見をまとめました】

※学校の教育活動全体に関わることにについて抜粋しました。ご了解ください。

☆学習関係について

- ・夏休みの宿題は各学年のスキルに合わせてほしい。
- ・夏休みの宿題は読書を推進するという意味でも生活作文より読書感想文を必須にしたほうがいいのか。
- ・総合学習で一年を通じて災害について学べたのはよかった。外部講師を呼んだり、地域の防災訓練に参加したり、つながりを感じながら学んでいたと思う。
- ・子どもたちが自分の意見を臆することなく言えたり、違う意見を聞いて認めたりする姿が見えてとてもいいなと思いました。色々な委員や係の活動もあり、みんな積極的に参加し責任を持ってできていてすごいなと思いました。

○課題については、今後も子どもたちの学びの意義やねらいを考えながら、出し方や量を検討していきたいと考えます。また、子どもたちは総合的な学習の時間や生活科を通して、様々な地域の方と関わり合う中で大きく学びを深めることができました。これからも、コミュニティスクールや地域学校協働活動の推進を図り、子どもたちの成長を促していきたいと考えます。保護者の皆様にもご理解ご協力をよろしくお願いします。

☆学校行事について

- ・マラソン大会は昔みたいに、校外に戻した方が、子どもたちのやる気がでると思います。
- ・校外学習(遠足)は、できれば毎年違うところに行けるようにしてもらいたい。

○駆け足訓練・マラソン大会は、苦しいことを自分と向き合いながらやり遂げ、達成感を味わえる意義のある行事だととらえています。マラソンコースについては、子どもたちの安全確保の観点から見ると、必要な人員の確保の難しさや周辺の交通への影響から現在の方式に至っています。

☆施設・設備について

- ・体育館のエアコン設置を希望します。→ 工事予定あり
- ・設備の件で、児童クラブ開設時や放課後に使えるお手洗いを充実させてほしい。→ 2月より外トイレ開放
- ・学校備品のタブレットのメンテナンスをちゃんとして欲しい。→ ICT支援員との連携強化
- ・校庭の東側に、丸太で座れるところがありますが、金具がむき出しになって危険。新しく丸太を設置するか、金具を撤去していただきたい。→ 撤去済み

○施設については市内各校も老朽化が問題になり、限られた予算のなかで計画的に対応が進められています。昨年度ご指摘いただいた外壁については北校舎を現在工事中です。来年度も、防災及び避難所対応から太陽光発電設備と体育館の空調設置の大規模な工事が予定されています。

☆登下校・健康・安全・環境について

- ・通学路での不審者情報に対して、現場で下校を見守っていただき、とてもありがたく思いました。
- ・あいさつができない子が多い。地域の大人への呼びかけも必要かも。学校側だけでなく、家庭の問題もある。

→ 学区小中学校・地域との連携強化

- ・コロナ禍に中止された給食後の歯磨きを再開していただきたいです。
- ・不登校の子やクラスに馴染めないような子が自分のクラス以外で学校で過ごせる場所があるとよい。
- ・部活動がなくなり、子どもが運動する場や機会が減っている。授業後の学校や公民館を利用して何かできないか。

→ 地域学校協働活動・放課後子ども教室との連携

○登下校時や下校後の安全指導については、交通安全・不審者対応ともに、折りに触れ繰り返し行い、今後も粘り強く指導を続けてまいります。あいさつについても、地域との結びつきを高めることが子どもたちの身を守ることにつながると考えます。今年度スタートした『交通安全・あいさつ協力隊』や、蒲東学区合同あいさつ運動も広げていきながら、意識の向上を図っていきます。協力よろしくお願いします。

また、蒲東小は下校後や休日に学校に遊びに来る子がたくさんいます。今後は地域学校協働活動や放課後子ども教室との連携も深め、子どもたちが地域とも関わりながら活動できる場を広げることができたらと考えます。

☆制服（冬の服装）・体操服について

- ・体操服(上)がネイビーやグレー、またVネックも丸首だとよいと思う。
- ・長袖体操服をジャージ素材に。長ズボンの体操服がほしい。
- ・体操服をもっと涼しい形状や素材に。

○新年度より制服着用の自由化が正式にスタートします。制服については廃止になるわけではなく、あくまでも「着用の自由化」です。今後も制服を着用してもかまいませんし、他の服装でも大丈夫です。「学校の体操服でもいいのか？」等のご質問もありましたが、それも含めて保護者の判断で大丈夫です。体育時の服装については体操服の着用を継続しますが、熱中症や防寒対策については子どもたちの健康・安全を考え対応をしていきます。体温調節をしやすいように、授業や行事に応じて指示をする場合もありますが、目的や意図が正しく伝わるように努めてまいりますので、ご理解ください。

☆保護者との連携について

- ・コドモンに移行し、配布物だったものが配信となり、資源も減り、とてもいいと思っています。
- ・学年通信や給食の献立等は紙の方がいい。→ 全校の行事・下校予定を印刷配付
- ・授業参観などかしこまった場ではなく、もっと普段の様子を見にいける機会があると嬉しいです。

○コドモンからのお知らせ配信がスタートし、必要な情報をタイムリーにお届けすることが可能になりました。今後も学校の様子が保護者の方に伝わるように努力をしてまいります。通信は子どもたちが活用する場合は印刷した物を渡すこともしていきます。(基本は配信のみです。)給食の献立については市全体の取り組みで市からデータの一括配信となっておりますのでご理解ください。また、月ごとの行事や下校時刻については3月分より全校分をまとめた表を印刷配布していくのでご活用ください。

☆PTA活動について

- ・役員決めは、名簿に丸つけをやめてほしい。

○PTA活動については、組織や活動内容の見直しを進め、極力役員・委員の皆様の負担軽減に努めてまいりました。学年委員については、投票以外の方法となると、各学年で全員お集まりいただく必要があるのが難しい面もありますが、いろいろなご意見をいただきながらよりよい方法を検討していきたいと考えます。本年度も資源の事業所及びコンテナ常時回収の収益からウォータークーラーの設置や、子どもたちが楽しんだ『ナイトがみっ子 2024』の実施など、本当にありがとうございました。

アンケート回答者人数 子ども 279 / 283名
保護者 283 / 283名(子どもごとに回答)